

NO消費税

2026.1
第413号

発行 消費税をなくす全国の会

〒114-0023 東京都北区滝野川3-3-1-201
TEL 03-3940-0401 FAX 03-3949-9885

●郵便振替 00130-2-16922 ●1部170円(送料共) *1999年1月18日 第3種郵便物認可
●ホームページ <http://no-shouhizei.com/> *2026年1月1日発行(毎月25日発行)



●目次●

若者が希望を持てる社会を そのためにも消費税は廃止……………(1)
2026年の政治・経済展望……………(2)
東西南北(各地の取り組み)……………(4)

私たちの思い……………(6)
エッセー(生活保護受給者の全額補償を求めて)……………(7)
みんなの声……………(7)
議会制民主主義破壊の暴挙 議員定数の削減……………(8)



署名を訴えた福岡県の会の皆さん。前列中央が大嶋さん

「物価高の中で消費税減税は切実な願いです。署名へのご協力をよろしく願います」。師走の足音が近づいてきた11月25日、福岡市博多区の川端商店街に元気な声が響き渡りました。消費税をなくす福岡県の会の街頭宣伝行動です。この商店街は130年の歴史を誇り、現在は130軒ほどの店が軒を連ねています。

夕方の買い物に忙しい人たちにチラシを渡して署名を訴え、シール投票も行いました。参加者の一人、大嶋久代さんは笑顔で手を振りながら署名を訴え、マイクも握

新しい年が始まりました。会報読者は全国の奮闘で5千人を超え、今年10月の総会に向けては5300人の最高現勢をめざします。紙面刷新を図り、内容をより豊かにし、多くの人たちに購読していただける紙面づくりに励みます。1面は、県・地域の会の活動や消費税をなくしたいと願う人たちの姿を紹介します。1回目は福岡県の会の活動と大嶋久代さん(69)の思いを届けます。

草の根の活動から
若者が希望を持てる社会を
そのためにも消費税は廃止

福岡県の会
大嶋久代さん

りました。

夫婦2人、年金暮らしです。「旅行にも行けず、芝居も観られない里に帰るのも先延ばしにして、年賀状も節約。文化的な生活には程遠い。だから消費税廃止・減税は自分にとっても切実」と力を込めます。

活動がリハビリ

大嶋さんは12年前、脳梗塞で倒れ、左半身麻痺の後遺症が残り、今も思うように動くことができません。「右半身がコンクリートで左半身がコンニャク。バランスを取るが大変よ。活動がリハビリ」と笑います。そばで支えるのは、柔和な笑顔の夫・忠志さん(71)。「この人は正義感の塊」と目を細めます。

共産党地区委員会の専従を務め、早朝から夜遅くまで活動し、赤旗日曜版90部を配達。県議候補にもなりました。「1日、48時間。自分が頑張れば」と気持ちを振るい立たせていました。神経が高ぶって眠れない日が続きましたが、活動をやめることができませんでした。